

放射性廃棄物の保管状況

弊社は、核燃料物質の使用許可を有し、核燃料物質を用いた試験・研究を行っています。試験・研究の実施に伴って放射性廃棄物が発生しますが、この放射性廃棄物は最終処分までの間、弊社の保管場所で保管することとなります。東海地区での保管状況は以下の通りです。

- | | |
|----------|---|
| (1) 保管場所 | 廃棄物保管庫、燃料ホットラボ施設（貯蔵プール） |
| (2) 保管容器 | 低レベルA：200リットルSUS缶（貯蔵プール内）
200リットルSUS缶入りキャスク（廃棄物保管庫内）
低レベルB：200リットルドラム缶（廃棄物保管庫内）
：フィルタ専用保管容器（廃棄物保管庫内） |
| (3) 保管能力 | 低レベルA：200リットルドラム缶換算83本相当
低レベルB：200リットルドラム缶3210本 |
| (4) 保管数量 | 低レベルA：200リットルドラム缶換算32本相当
低レベルB：200リットルドラム缶換算2367本相当
(2018年3月31日現在) |

- 注)
- ・低レベルA：主にホットセル内で発生した廃棄物
 - ・低レベルB：上記以外の廃棄物



200リットルドラム缶及びフィルタ専用保管容器の保管状況



200リットルSUS缶入りキャスクの保管状況